（別添資料１）

事業所名　カラフル佐竹台

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　2024 年　7 月　1 日

法人（事業所）理念		障がいのある子ども達が無理なく社会に溶け込めるよう、愛情を持って本人やその家族に寄り添い、専門的な療育を提供し個性や才能を伸ばします。		
支援方針		障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、生活能力の向上に繋がる療育を提供します。		
営業時間		学期中 12 時 0 分から 18 時 0 分まで 土曜及び長期休暇中 10 時 0 分から 16 時 0 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	日常生活に必要な基本動作や生活習慣を身に付けます（着脱の練習・トイレトレーニング・お箸やハサミ等生活器具の練習・身の回りの整理整頓etc）		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及びボディイメージを習得をし保有する視覚・聴覚・触覚の感覚を療育や遊びを通して活用し向上を図ります。		
	認知・行動	信頼できる大人（保育士・児童指導員・各種専門職・管理職を含め事業所内従業者）と行動し、環境からの情報を取得し視覚・聴覚・触覚等へ働きかけ、どのように行動したら良いか一緒に考え、認知過程の発達を促します。		
	言語 コミュニケーション	個別療育や小集団での療育や活動を通して、適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現の向上を図ります。		
	人間関係 社会性	信頼できる大人（保育士・児童指導員・各種専門職・管理職を含め事業所内従業者）とまずはゆっくり関係性を創り、他児や社会と繋がっていけるようアプローチします。		
家族支援		日常生活において、より良い支援に向けて情報共有を行います。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行の準備や、学校での生活や支援の充実に向けて連携を図ります。
地域支援・地域連携		関係機関で役割分担を行うと共に、各機関で得た情報を共有する事で日常生活や支援に具体策を提案します。	職員の質の向上	社外の研修に積極的に参加し社内研修として情報を共有します。
主な行事等		遠足、おやつクッキング、お正月遊び、すいか割り、クリスマス会、保護者会		